

# ユニオンガール'S TALK No.1

## 新後閑 美保さん

連合群馬 執行委員  
連合群馬女性委員会 委員長  
独立行政法人国立重度知的障害者総合施設  
のぞみの園労働組合 執行委員



### まずは参加して！情報収集からつながる

はじめまして、ユニオンガール'S TALKへようこそ

#### ーお名前が珍しいですね

よく読み間違われます（笑）。高崎市には「<sup>しごかまち</sup>新後閑町」という小さな町が上信電鉄の南高崎駅付近にあるんですよ。私も高崎市出身です。先祖はそちらの出身だったと聞いたことがあります。名前といっしょに是非覚えてもらい、声をかけて下さい。

#### ーどんなお仕事をされていますか？

国立のぞみの園は、重度の知的障害者に対する自立のための総合的な支援をしています。障がい者の企業への就職を目指していますが、結びつきが難しい方には施設内で就労していただき、しいたけ栽培をして高崎市内のスーパーに出荷をしています。こういった福祉的就労のサポートをしています。

#### ー組合役員になられたのは？

単組の執行委員になって約9年になります。以前から組合の執行部として熱烈なオファーがありましたが、当時、出産を控えており、公私ともに忙しい時期でしたので、長女が小学1年生になったのを機に執行委員として加わるようになりました。

組合活動をしてみると、特に団体交渉では自分たちの要求が少しずつ形になっていく。プロセスや結果が反映されているのがとても勉強になり、やり甲斐もあります。

#### ー女性委員会委員長に就任して5カ月が経ちますが？

昨年12月の総会で委員長に就任しました。幹事の経験は3年ほどありますが、委員長としてはまだ数カ月。たくさん不安もありますが、先日の国際女性デー群馬県集会で沢山の女性の仲間とともに、女性の働く権利を求めて世論喚起ができたことは、私としても大変有意義なものでした。女性委員会の活動ではたくさんの横のつながりもできて、情報収集もバッチリです。

#### ー仕事と家庭の両立は どうですか？

職場では若い層の組合員も多く、特に、変則勤務の職場もあり、仕事と家庭の両立について、不安を抱えて働いている女性組合員も多く傾聴を大切にしています。

私は恵まれており、両親と暮らしていますので父と母に頭があがりません。家族の手助けが必要ですね。とても忙しい中ですが、剣道部の長女中学3年と陸上クラブに通う長男6年生の試合観戦や送迎が今は楽しい時間です。

#### ーこれから活躍する女性組合役員へ抱負

変則勤務の執行部の予定を合わせるのも難しく、実は組合で続けていた「バザー」が一時途絶えていました。東日本大震災を機に復活したときは、執行部が一丸となってやり遂げることができ、大きな達成感を味わうことができました。女性委員会の活動もそうですが、参加することで“本質”がわかり、つながりが“本当の財産”だとわかりました。まずは組合の行事や活動に参加して、人とのつながりを財産にして欲しい。

#### ー最後にひとこと

5月19・20日には全国一斉働く女性の労働相談ダイヤル「STOP!セクハラ パワハラ マタハラ」を実施します。女性委員会が相談対応を行います。労働相談の心構えなど、実践で活躍できるよう猛勉強中です。知人や家族が困っていましたら、ぜひ気軽に相談してほしいです。



施設内で  
しいたけ栽培中

今号より女性役員の紹介を  
始めます。自薦他薦は問いま  
せん。わか組合自慢の“女性  
役員さん”をご紹介します。

Listener 吉田 香苗



〜安心して働きたい・暮らしたい団へ  
【地協活動について】

早いもので私が再雇用され太田地協に赴任してから3年が経ちました。私は地協専従者として太田を起点に主に東毛地区を担当し、この間、日常的な活動のひとつとして機関紙等を持ちながらの各単組への訪問活動や地域で働く方からの労働相談の対応などをしてきました。また、地協活動の中でも最も大きなイベントである連合群馬ふれあいフェスティバルの開催に向けては、構成組合はもとより企業、ボランティア団体、保育園、幼稚園など各種団体の皆さんに参画して頂けるように日頃から連携強化や情報収集に努めています。これからのフェスティバルを更に盛り上げるためにも、連携する組織の幅を広げていきたいと考えておりますので、皆様からの紹介も宜しくお願い致します。

連合群馬では地域での労働運動を拡げるための世論喚起行動として、車を使つての街宣行動をおこなっています。街宣の内容は労働相談のPRや暮らしの底上げ・底支え・格差是正の実現に向けた訴えなど様々…街宣中は、どれくらいの方が聞いてくれるのか？どれくらい効果があるか？を考えながら実施しています。町ゆく人の反応は様々ですが、必ず一人ひとりの心に響いていると信じて活動しています。

そして地域での活動を進めるなかで、地協相互の連携がとても重要だということも感じています。各地協の幹事会にも参加することがあるのですが、地協毎に悩みや課題はそれぞれあります。しかし横の連携を取ることで解決できることが多くあるのも事実。これからも地協の身近なパイプ役として少しでもお役に立てればと思っています。

(峯崎)